

# 小矢部市

## 地域部活動推進事業

### R5実証事業最終報告（R6.3.5）

---



# 1 実施体制(運動部)



# 1 実施体制(文化部) ※中間報告からの変更なし



## 2 実施事業校・競技等

部活動	柔道部	野球部	ホッケー部	サッカー部	吹奏楽部
対象校数	1校	4校	4校 (男子4校、女子3校)	3校	1校
参加生徒数	9人	54人	男子37人、女子43人	66人	男子5人、女子18人
活動形態	単独校	地域クラブ 2校合同× 2チーム	単独校	R5.10～単独校 ※R6.9～地域クラブとして活動予定	単独校
受託事業者	NPO法人おやべスポーツクラブ				小矢部市吹奏楽団
指導者	市柔道協会	市野球連盟	市ホッケー協会	市サッカー協会	小矢部市吹奏楽団

# 3 実証内容

---

## ①指導者配置

- ・常時2名の指導者を配置  
大会出場時の引率、審判等の役割分担及び事故発生時の対応を想定  
行き過ぎた指導を互いにけん制

## ②指導者報酬

- ・1, 200円/時間(通勤費を含む)
- ・土日のどちらかのみ + 祝日の活動を原則とする
- ・1回当たり3時間まで

## ③大会旅費

- ・北信越大会及び全国大会については、全額を中体連補助及び市補助で負担
- ・その他の旅費(練習試合等)については、市から支給

## ④保険

- ・スポーツ安全保険に加入(生徒162名、指導者36名)

# 4 成果



◎部員数の減少

◎競技団体の高齢化

◎教員の働き方改革

モデル事業の実施により



合同部活動の促進

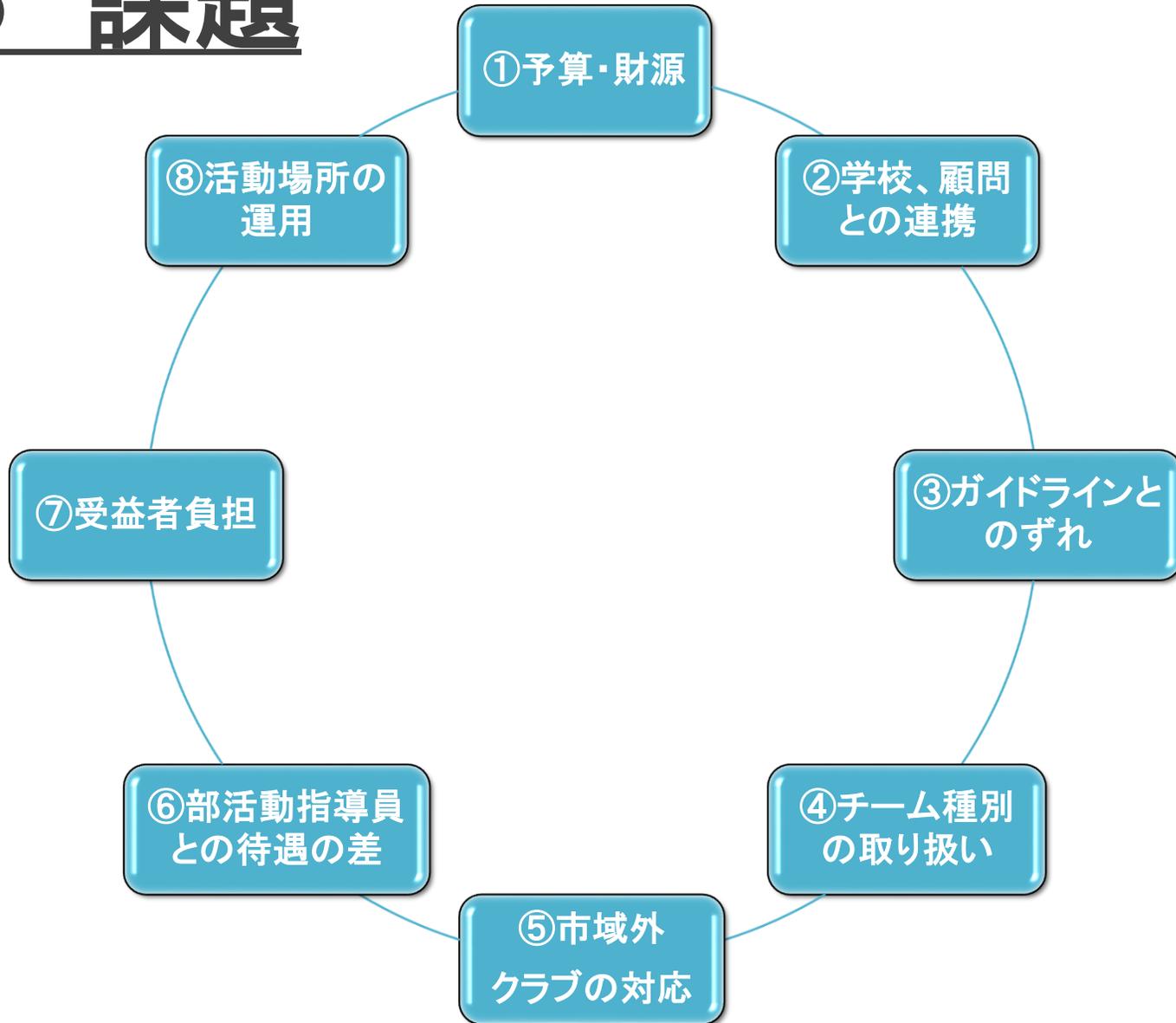


競技団体の意識が  
変わった



休日の顧問教諭の時間外勤務時間  
6割程度 減

# 5 課題



①単年度予算のため、次年度の予定を明確化できない

②どこまで学校部活動であるか、学校のかかわり方が不明確

③生徒・保護者・指導者ともに熱心であり、長時間の活動が見られる。

④クラブチームなのか、地域クラブなのか

⑤市外の地域クラブ等に参加している場合、生徒の加入、活動状況が把握しづらく、市としてどこまで支援ができるかわからない。

⑥地域部活動指導者 1, 200円/h  
部活動指導員 1, 600円/h

⑦市単独では厳しい。  
財源が不安定 → 継続計画が困難  
受益者負担の必要性

⑧休日や夜間の活動場所の管理問題(鍵の開閉、道具の保管場所等)

# 6 課題解決に向けて

---

- ・今後の持続的な活動を行うため、地域移行可能な部活動を把握し、必要となるコストの見通しをつける。
- ・必要に応じて、受益者負担を徴収する。（現在、受益者負担を自主財源とする予定はないが、今後発生する可能性があることを周知しておく。）
- ・校舎のセキュリティ面を考慮し、スマートロック等導入の検討を進める。